

(事前C)

## 評価委員会総合評価

研究課題名：津波の予測手法の高度化に関する研究

評価委員

委員長：古川信雄

委 員：小泉尚嗣、田中正之、渡辺秀文、泊 次郎

評価年月日：平成 25 年 9 月 25 日

### 1. 総合評価

- (1) 実施の可否 ☒ 可 ☐ 否  
(2) 修正の必要の有無 ☐ 修正の必要あり ☒ 修正の必要なし

### 2. 総合所見

津波予測の高精度化や迅速化は、社会的要請の極めて高い重要なテーマである。本研究は、東日本大震災に伴う津波の研究により明らかになった課題と前研究で得られた成果をもとに、津波予測の高度化を目指した内容となっている。

沖合における稠密な津波観測網の整備・展開に対応し、その観測データを同化することにより、津波の伝播を面的に把握し、一定時間後の津波の伝播を予測する手法の開発や遠地津波の後続波と減衰特性のモデル化はいずれも時宜を得た研究であり、津波災害軽減に大きく貢献することが期待される。

特に、波源推定に基づかない津波の予測手法の開発は、震源・マグニチュード推定に基づかない緊急地震速報同様に、その成果が大いに期待できるものであり、津波警報解除予測の高精度化は、津波被害発生後の救助活動等に直接貢献することから、早期の実用化が望まれる。

研究の対象は明確で計画もよく検討されており、災害軽減効果に直結する成果が見込まれる。鋭意推進して欲しい。